



大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」
～ 努め合い・学び合い・共に育つ ～

<目指す児童像>

豊かなコミュニケーションの下で、

かしこい子(知) 明るい子(徳) たくましい子(体)

TEL 663-7005

FAX 663-9886

大砂土小学校 ホームページアドレス <http://osato-esaitama-city.ed.jp/>

メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

令和8年4月8日 第1号

春風が運ぶもの

校長 新堀 栄

満開の桜に包まれ、令和8年度の大砂土小学校が静かに、しかし力強く新たなスタートを切りました。春の光に照らされながら、子どもたちが笑顔で登校してくる姿を見ていると、この学校が地域の皆さまに支えられ、保護者の皆さまに温かく見守られながら歩んできた年月の重みを、胸の奥でそっと感じます。校長として3年目を迎える今年度、これまで以上に「子どもが真ん中にある学校」を実現するため、教職員一同と心を合わせて取り組んでまいります。

今年度は児童数1,218名、42学級でのスタートです。一人ひとりが安心して学び、仲間とつながり、自分の力を伸ばしていける環境を整えることが、私たち教職員の大切な役割です。今年度、子どもたちに特に大切にしたいこととして、「あいさつを大切にすること」「自分の考えをもつこと」「失敗を恐れず挑戦すること」の三つを掲げました。あいさつは心と心を結ぶ最初の一步であり、自分の考えをもつことは学びの主体性を育て、挑戦する姿勢は未来を切り拓く力となります。これらは学習面だけでなく、日々の生活の中で子どもたちが成長していくための確かな土台です。

ここで、春にまつわる一つの説話をご紹介します。菅原道真が太宰府に向かう際、庭の梅に「東風吹かばにほひおこせよ梅の花…」と詠んだ歌があります。春風が吹けば、遠く離れていても香りを届けてほしいという願いが込められています。曲解ではありませんが、私はこの歌に子どもたちの行いが周囲へ静かに広がっていく様子を重ねます。誰かのために働く姿勢や優しさは、梅の香りのように目には見えなくても人の心を温かくし、学校全体の空気をやわらかく変えていきます。

その象徴ともいえる出来事が、4月3日の準備登校で見られました。6年生が新しい教室配置に合わせて机や椅子を運び、在校生のために黙々と働く姿を見せてくれたのです。重い机を運ぶときには自然と声を掛け合い、下級生の教室では「ここはこうした方が使いやすいかな」と相談しながら作業を進めていました。最高学年としての自覚と優しさがにじむその姿は、まさに“梅の香り”のように学校中に広がり、下級生にとっても大きな学びとなることでしょう。6年生の頼もしさに心から感謝するとともに、今年度の学校生活を支える大きな力になると確信しています。

地域・保護者の皆さまには、日頃より登下校の見守りや行事へのご協力、学校への温かい励ましなど、多方面にわたりご支援をいただいております。大砂土小学校が安全で安心な学びの場として機能しているのは、皆さまのお力添えがあってこそです。心より感謝申し上げます。今年度も、子どもたちの健やかな成長のため、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。最後に、今年度の学校経営方針を以下のように設定し、努力してまいります。

**【学校経営方針】『大砂土小学校を誇りとし、伝統を深化・充実させる』
～通いたい、通わせたい、勤めたいと思える学校づくり～**